

連携

第69号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



市民公開講座



家族で考える 乳がんの正しい知識と予防・治療について ～上手に使おう乳がん検診～



平成31年2月16日(土)、この花さくや姫プラザにて市民公開講座を開催しました。今回は東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 教授の石田孝宣先生を講師にお招きし、乳がんについてご講演いただきました。乳がんと聞くと女性の疾患という印象が強いと思いますが、「家族で考える」がテーマということもあり、男性の参加者も含め約160名の参加がありました。

石田先生より、乳がんの予防方法や疫学的観点、再発リスクや早期発見の意義などについてとても分かりやすくご講話頂きました。情報社会である今般、信頼できる情報サイトであるかどうかの見極めが必要であることや情報に惑わされず診断を受けること、早期がんと進行がんでは治療過程やその後の予後がかわるため、早期発見の意義が問われるとあり検診の効果や検診を受ける重要性を改めて認識致しました。

東北大学病院での取り組みもご紹介頂き、身体の悩みや就労支援など患者様が不安に思うことへの支援は医療だけではなく美容分野や社会保険労務士等の他職種連携が必要であるとの事でした。

遺伝子解析を含め、今後の乳がん治療はどんどん細かく細分化されるとあり、近い将来、本当の意味での個別化が実現されるのでは？とのご教示から、自身、また近しい親類・友人が乳がんと診断された場合、医療の未来に期待したいと感じる講演会でした。

今後も市民のみなさまの声に耳を傾けて、たくさんの方々が望む研修会を企画していきたいと思ひます。



第26回連携のつどい“よらいん” 「わかる≠できる ノロウイルス対策」



平成31年2月7日(木)、第26回連携のつどい“よらいん”を開催しました。「わかる≠できる ノロウイルス対策」をテーマに、当院感染管理認定看護師の上野副看護師長がクイズを交えながら講演しました。院内外合わせて96名の参加がありました。



今回は講義だけでなく、ガウンテクニックを行ってノロウイルスに汚染された吐物の処理方法の実践やウイルスに見立てた蛍光剤入りクリームを使用して手袋を外した後の汚染拡大の有無をブラックライトで確認するなど、演習に参加して頂く研修会を行いました。クリームを使用時の演習では、参加者にいつも通りにゴム手袋の着脱を行って頂きました。外した際に手首や衣服にもクリームが付着しており、汚染が拡大されていることを確認でき、拡大を防ぐ手袋の外し方などを学ぶことができました。アンケート結果からも「演習があり楽しく学べた」「感染症について定期的に勉強会を開催してほしい」などの意見が多数聞かれ、参加された事業所のみなさんの学びたい、知りたいという姿勢を強く感じる研修会でした。

今後も参加者と共に学べる研修会を企画し、地域連携の輪を拡げていきたいと思っております。

やなせ なな

心ほかほかコンサート



平成31年1月25日(金) 歌手で僧侶でもある、やなせななさんをお迎え、今回で4回目となるコンサートを開催しました。テーマの通り、心あたたまる歌声とトークに加え、やなせさんが脚本・音楽を手掛けた映画「祭りのあと」の上映も行われました。インフルエンザの流行時期と重なったことから、院外からの参加者対象となりましたが、約130名の参加を頂き、コンサートを楽しみました。

やなせさんの歌声やお話に心うたれ、自分も頑張って生きていく勇気もらったという声が多く聞かれました。またアンケート結果からもコンサートを心待ちにしている地域の方々がたくさんいる事がわかりました。

今後も地域のみなさんの心を元気にさせられるような企画を続けていきたいと思っております。



— 新規職員紹介 —



1月より赴任しました循環器内科の深澤と申します。
地域のみなさんのお役に立てるように努力したいと
存じます。よろしくお願い致します。

循環器内科副医長 深澤 恭之朗

学会・研修会・論文発表

☆第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会 H30.11.3 札幌コンベンションセンター

中学女子野球選手の身体的特徴および性差に関する検討

○藤盛 理子¹、永元 英明¹、村木 孝行²、黒川 大介³、品川 清嗣⁴、石川 博明²、山田 祥康⁵

¹栗原市立栗原中央病院整形外科、²東北大学病院リハビリテーション部、³JCHO 仙台病院整形外科

⁴東北大学病院整形外科、⁵東北保健医療福祉専門学校

前足部形態は下腿・足部スポーツ障害発生に關与するのか？

栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 畠 英里

脛骨疲労骨折保存療法に対する体幹機能の重要性

栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 才川 竜弥



☆第56回日本糖尿病学会東北地方会 H30.11.17 仙台国際センター

心疾患を有する2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬の実際の効果

栗原市立栗原中央病院 内科 木田 真美、吉越 仁美、佐藤 修一、小泉 勝

糖尿病教室定期開催 12年経過しての現在の取り組み

栗原市立栗原中央病院 栄養管理室¹、同 内科²、同 糖尿病外来³

石川 智恵¹、伊藤 義博¹、木田 真美²、小泉 勝³

☆第3回日本心臓リハビリテーション学会東北支部地方会 2018.12.2 東北大学医学部開設百周年記念ホール

高度肥満による心不全を呈した肥満心筋症に対し、心不全治療と共に長期包括的心臓リハビリが奏功した一例

前川 芳輝¹、太田 浩貴¹、荒井 豊¹、伊藤 大亮²、主藤 弘太郎³、矢作 浩一⁴、尾形 剛⁴
平本 哲也⁴

¹栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科、²東北大学大学院医工学研究科 健康維持増進医工学分野

³栗原市立若柳病院 リハビリテーション科、⁴栗原市立栗原中央病院 循環器内科

☆第46回日本放射線技術学会秋季学術大会 平成30年10月5日(金) 仙台国際センター

ぶどう糖を用いた簡便なファントムの作成方法について

川又 渉¹⁾、吉田 礼^{2,3)}、町田 好男³⁾

かつの厚生病院¹⁾、栗原市立栗原中央病院²⁾、東北大学大学院医学系研究科保健学専攻³⁾

糖尿病患者受入れについて

2月4日（月）より当院に糖尿病の患者様をご紹介いただく場合、下記のとおり **FAXによる予約診療**とさせていただきますこととなりました。また緊急受診が必要な患者様につきましては、即応させていただきます。

皆様には大変なご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（FAXによる予約診療の手順はこれまでと変更ありません。）

☆受診方法☆

- ① 当院専用の「紹介患者受診依頼票」に必要事項をご記入のうえ、地域医療連携室直通 FAX（0228-21-5336）にお申し込みください。
その際、**宛名は「糖尿病担当医」**と表記ください。
- ② 当院担当医師と連絡調整し、予約日時が決まりましたら FAX にてご予約の回答を致します。
※1 「紹介患者受診依頼票」は当院宛の紹介状になりますので、患者様に受診時に持参していただくようお願いください。
※2 ご予約の回答 FAX は、患者様控えになります。日時、持参する物などが記入されていますので、患者様にお渡しください。

☆診療体制の変更について☆

◎内科【脳神経内科】

4月より内科【脳神経内科】外来診療は、木曜日から**金曜日**に変更となります。

◎皮膚科

4月より皮膚科外来は当面の間、**火・木・金曜日の午前中のみ**の診療となります。



なお、**初診患者様は紹介状が必要**となります。再来の方は予約の方に限らせて頂きます。

皮膚科の生検・手術目的の紹介も制限致しますので、関係医療機関のみなさまには多大なご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

—皮膚科外来受付時間—

初診患者様（紹介状が必要となります）

午前 8 時 30～午前 10 時まで

再診患者様（予約のある患者様）

午前 8 時～午前 10 時 30 分まで

がんサロン「サロン de よらいん」のご案内

「サロン de よらいん」は、がん療養中の方やご家族、がん体験者が集まり、お互いの体験や気持ちを語り合い支え合う場所です。

ご都合のつく日で構いません。お気軽にお立ち寄りください。

開催日：毎週第2火曜日

場 所：栗原中央病院

お茶代：100円

時 間：14:00～15:30

お申し込みは不要です



- 編集後記 -

今年度最後の連携誌発行となります。今号は市民向けのコンサートや講演会開催報告となりました。一年間、連携誌をお読みいただきありがとうございました。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>

地域医療連携室（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336